

しろた

中部小ルール「しろた」
し…しっかりそうじ
ろ…ろうかはしづかに
た…たくさんあいさつ



神埼市立千代田中部小学校

令和7年度 16号

令和8年1月30日
文責 校長 坂口博之

学校教育目標

「賢く 優しく 遅しく」

夢や目標に向かってチャレンジする児童の育成

～「節分」を前にして思うこと～



2月といえば「節分」です。暦の上では立春を迎えようとしており、少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。本来、「節分」とは季節の節目にある立春、立夏、立秋、立冬の前の日のことを言い、実は年に4回あります。立春の前日に行われる「節分」は、古くから日本で大切にされてきた伝統行事の一つです。それは、旧暦で正月節にあたり、2月の「節分」は1年の始まりとして特に重んじられてきました。

昔の人々は、季節の変わり目には、病気や災いなどのよくないことが起こりやすいと考えていました。そこで、そうした悪いものを「鬼」にたとえ、豆まきをすることで追い払い、新しい季節を元気に迎えようとしたのが「節分」の由来とされています。「鬼は外、福は内」という言葉には、悪いことを遠ざけ、幸せを呼び込もうとする願いが込められています。また、自分の年の数だけ豆を食べる風習には、「一年間を健康で無事に過ごせますように」という思いがあります。

このように、日本には昔から伝わる伝統行事があり、それぞれに人々の大切な願いや思いを伝えて、今もなお伝承されています。生成AIの到来、少子高齢化社会、グローバル社会等、目まぐるしく変わり予測不可能な現代社会だからこそ、日本の伝統行事や地域に伝わるいろいろな行事や人々の思いに关心をもち、伝統を忘れる事のないようご家族で一緒に話してみるのもいいかもしれませんね。

入賞おめでとう！

【第六十一回新春読書感想文コンクール】

地区優秀賞

田中康一朗（一年）
「ライオンのくにのねずみ」をよんで

【神埼：ぶるさと学習】子どもマイスター

○子どもマイスター研究論文

中村未来（三年）

「知つてほしい！ヒンのひみつ」

【新年書き方会】

○硬筆の部



地区特選
○毛筆の部

（四年）

坂井大祐（五年）
吉田香澄（四年）
古田一芽（四年）
原口恵介（四年）
村上陽菜（三年）
天本瑞希（三年）
仁井茉央（一年）
直鳥桃子（一年）

地区入選
○硬筆の部
樋口穂香（六年）
垣副ゆり（五年）
北島悠聖（四年）

地区特選

○毛筆の部

樋口穂香（六年）
垣副ゆり（五年）
北島悠聖（四年）

「がんばってみよう！チャレンジしてみよう！」
という気持ちがとてもうれしいです。

吉岡幸姫（五年）
新井ひより（六年）

地区入選

直鳥歩（三年）
西川日菜（三年）
江頭澪（四年）
園田陽彩（五年）

富田真央（五年）
杠心香（五年）
井手瑞人（五年）
松尾泰武（六年）

【第二十六回アバンセ杯放送コンクール】
○アナウンス部門

優秀賞

（大会で発表）



【第二十回神埼市青少年主張大会】
○ボジティブに生きる

優秀賞

原口恵介（四年）
樋口優妃（六年）



藤西子どもクラブのみなさん
入賞（実践を発表）

【神埼市子どもクラブ連絡協議会】
活動実績発表会
「ぼくの3Rチャレンジ」

